

国語

「ReView」とは…

「再び(re-)よく見る(view)」, つまり「復習」・「見直し」という意味の言葉です。

本書をお使いになる皆さんへ

「高校入試対策 ReView 国語」は、高校入試に向けて日々学習している皆さんのために開発したテキストです。

高校入試において配点の高い「文章読解」の分野では、設問の中に解説・ポイントを織り込んでいる問題も用意して、読解の方法を基礎から確認できる内容にしました。

また、入試本番時に得点源となる「知識分野」は、中学2年までの学習内容を中心に、幅広い単元をご用意していますので、各知識事項の基礎固め・総復習を行う事が出来ます。

このテキストを利用した皆さんが、入試で希望通りの結果を得られることを願ってやみません。

目次

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
読解入門	1	指示語の内容をまとめてみよう	4		/	/	○ △ ×
	2	キーワードを抜き出してみよう	8		/	/	○ △ ×
	3	キーセンテンスを抜き出してみよう	12		/	/	○ △ ×
	4	段落の要点をまとめてみよう	16		/	/	○ △ ×
読解基礎	1	文学的文章①	20		/	/	○ △ ×
	2	文学的文章②	24		/	/	○ △ ×
	3	文学的文章③	28		/	/	○ △ ×
	4	文学的文章④	32		/	/	○ △ ×
	5	文学的文章⑤	36		/	/	○ △ ×
	6	説明的文章①	40		/	/	○ △ ×
	7	説明的文章②	44		/	/	○ △ ×
	8	説明的文章③	48		/	/	○ △ ×
	9	説明的文章④	52		/	/	○ △ ×
	10	説明的文章⑤	56		/	/	○ △ ×
読解標準	1	文学的文章⑥	60		/	/	○ △ ×
	2	文学的文章⑦	64		/	/	○ △ ×
	3	文学的文章⑧	68		/	/	○ △ ×
	4	文学的文章⑨	72		/	/	○ △ ×
	5	文学的文章⑩	76		/	/	○ △ ×
	6	説明的文章⑥	80		/	/	○ △ ×
	7	説明的文章⑦	84		/	/	○ △ ×
	8	説明的文章⑧	88		/	/	○ △ ×
	9	説明的文章⑨	92		/	/	○ △ ×
	10	説明的文章⑩	96		/	/	○ △ ×
古文漢文	1	古典①	100		/	/	○ △ ×
	2	古典②	104		/	/	○ △ ×
	3	古典③	108		/	/	○ △ ×
	4	古典④	112		/	/	○ △ ×
	5	漢文の読み方に慣れよう	116		/	/	○ △ ×
	6	漢詩の形式と構成に注意しよう	117		/	/	○ △ ×

領域	単元番号	単元名	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
文法	1	文法①	118		/	/	○ △ ×
	2	文法②	122		/	/	○ △ ×
	3	文法③	126		/	/	○ △ ×
	4	文法④	130		/	/	○ △ ×
	5	文法⑤	134		/	/	○ △ ×
	6	文法⑥	138		/	/	○ △ ×
	7	文法⑦	142		/	/	○ △ ×
	8	文法⑧	146		/	/	○ △ ×
作文	1	原稿用紙の使い方を覚える	150		/	/	○ △ ×
	2	二段落構成の文章を書く	152		/	/	○ △ ×
漢字	1	漢字練習①	160		/	/	○ △ ×
	2	漢字練習②	170		/	/	○ △ ×

1 指示語の内容をまとめてみよう

1 ことばの勉強をしておこう 同音異義語・同訓異字

せっかく苦労して文・文章を書いたのに、誤字のために誤解されるのはたまらない。ここでとりあげた同音異義語・同訓異字は使い分けを誤りやすいので、とくに注意しよう。

① 次のそれぞれの組の文の——線部のカタカナを表す漢字として適切なものをそれぞれのあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1)
- ① 門戸をカイホウする。
 - ② 奴隷をカイホウする。
 - ③ 病人のカイホウをする。
 - ④ 病状がカイホウに向かう。

ア 解放 イ 介抱 ウ 開放 エ 快方

- (2)
- ① 左右タイショウの図形。
 - ② 友人と私はタイショウ的な性格だ。
 - ③ 砂漠をタイショウの一団が進む。
 - ④ 中学生をタイショウとして書かれた本。

ア 対象 イ 隊商 ウ 対照 エ 対称

- (3)
- ① 桜の花をカンショウする。
 - ② 芸術作品をカンショウする。
 - ③ カンショウ的な気分になる。
 - ④ 他人のことにカンショウする。

ア 干渉 イ 鑑賞 ウ 感傷 エ 観賞

〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕
 〔 〕 〔 〕 〔 〕 〔 〕

② 次のそれぞれの文の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1) よくコえた土地を手に入れる。
- (2) 紙がヤブれる。
- (3) 厳しい試験にノゾむ。
- (4) 結婚式の司会者をツトめる。
- (5) クラブへの入会をススめる。
- (6) 新入社員を十名トる。
- (7) 空き地に大きなビルがタつ。
- (8) 半生をかけて一冊の本をアラワす。
- (9) 税金を国にオサめる。
- (10) あえて危険をオカす。
- (11) 詳細な例をアげる。
- (12) 梅雨がアける。

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

2 指示語の内容をまとめてみよう

● 指示語の内容をまとめるためには

- 1 指示語の問題に答えるためには次のような手順をふむ必要がある。
 - (1) 指示語を含む文は、文脈を重視して、文末まで読む。
 - (2) 原則的に、指示語の前の部分から探す。(ただし、指示語の後に指示内容が述べられている場合もあるので、前の部分を見て指示内容に該当する部分が見つからない場合は、後を探す)
 - (3) 見つけた、または、まとめた指示内容は、必ず指示語の部分に代入して、意味が通るかどうかを確認する。
- 2 指示語の内容をまとめるときの注意点
 - (1) 設問の仕方に正しく対応させる。
 - ① 「何」を指しているか → 名詞(体言)の抜き出し
 - ② 「どういうこと」を指しているか → 「〜こと」(名詞句・名詞節)
 - ③ 「―線部」の指し示す内容 → 線部に即してまとめる

「〜こと」の形になることが多いが、あくまでも―線部との対応の仕方 で文末をまとめる配慮をする。
- (2) 指示語の種類や品詞によってまとめ方が異なる。
 - ① 「これ・それ・あれ・どれ」「こっち・そっち・あっち・どっち」「この・その・あそこ・どこ」
 - ↓ 代名詞(具体的なもの・方向・場所・「〜こと」などとまとめる)
 - ② 「この・その」↓ 連体詞、「こう・そう」↓ 副詞

どちらも修飾語であり、その形にそつまとめ方が必要。
- (3) 指示語の内容をまとめるときには、指示語を用いない。

2 線部の指示語が指している部分を文章中から書き抜いて答えなさい。

地球温暖化は温室効果ガスが主な原因だと言われています。それは、二酸化炭素やメタンなど大気中の熱を吸収する性質をもつものことです。

2 線部の指示語が指している部分を文章中から書き抜いて答えなさい。

日本人は古来から、自然に存在するものに神が宿ると考えたため、それを人格化して崇めるようになりました。また、木や岩、水などの物質だけではなく、雷などの現象にもそれが宿るといふ考えが根付いています。

3 線部の指示語が指している内容を書いて答えなさい。

池上嘉彦「ふしぎなことは」とは「ふしぎ」は「ふしぎ」

2

4 線部の指示語が指している内容を書いて答えなさい。

〈東山魁夷「風景」より〉

Blank rectangular box for answer.

3

5 線部の指示語が指している内容を、四十字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。

人口減少の問題が日本の中で広く認知されるようになって久しい。現在、国をあげて多様な少子化対策が打ち出されているものの、日本の人口は二〇〇八年をピークに徐々に減少している。それはつまり、現在の日本社会が子供を産み育てるのに適した環境であるとは言えないことを示している。

Grid box for answer.

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

3

3 (3) 線③「それ」が指している内容をまとめた次の文の□に入るこ
とばを、文末のまとも方に注意して、二十五字以内(句読点も字数に数え
ます)で書いて答えなさい。
〈美しく豊かな自然にふれると、□〉

2

2 (2) 線②「そんな場所」とは、どんな場所ですか。本文中から書き抜い
て答えなさい。

2

2 (1) 線①「そこ」が指している部分を、本文中から書き抜いて答えな
さい。
(注) 幻想にとりとめのない想像。
〈手塚治虫「ガラスの地球を救え」より〉

3

3 (3) 線③「それ」が指している内容をまとめた次の文の□に入るこ
とばを、文末のまとも方に注意して、二十五字以内(句読点も字数に数え
ます)で書いて答えなさい。
〈美しく豊かな自然にふれると、□〉

7 次の記事を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈吉野源三郎の文章より〉

3 (1) — 線①「それ」が指しているものを、全て三字以内で書き抜いて答えなさい。

3 (2) — 線②「それ」が指している部分を、本文中から十五字以内(読点も字数に数えます)で書き抜いて答えなさい。

4 (3) — 線③「この点」とは、どんな点ですか。三十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

3 (4) — 線④「それ」が指している内容を、十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

4 (5) — 線⑤「その」が指している内容を、「どの一つを」につながるよう
にまとめなさい。

どの一つを

2 キーワードを抜き出してみよう

記述トレーニング

● キーワードとは

説明的文章でも、文学的文章でも、繰り返し出てくることばがあるが、そのことばが「キーワード(中心語)」であり、その文章の要旨・主題に接近するためのカギになる重要語である。また、出てくる度合いは少なくても、内容理解の上で手がかりになることばも、同様にキーワードである。この単元では、もっぱら一文からキーワードを抜き出すことから始め、少し長めの段落の中のキーワードの発見のし方までを練習する。

1 次の文について、あとのそれぞれの問いに答えなさい。

〈山の上に、明るい月が出た。〉

- 2
- (1) この一文から、①主語と②述語を、それぞれ一文節で書き抜いて答えなさい。

①	②
---	---

- 1
- (2) 「月」の出ている場所はどこですか。適切なことばを書き抜いて答えなさい。

--

- 1
- (3) 「月」の様子を説明していることばを書き抜いて答えなさい。

--

2 次の文について、あとのそれぞれの問いに答えなさい。

〈彼女は、きのう紺色こんいしよのソックスをはいていた。〉

- 1
- (1) この文から、①「どんな」、②「何を」を説明していることばを、それぞれ書き抜いて答えなさい。

①	②
---	---

- 1
- (2) この文から「いつ」のことであることを説明していることばを書き抜いて答えなさい。

--

3 次の文について、あとのそれぞれの問いに答えなさい。

〈昔は「花」といえば、梅よりも桜のことを指すことが多かった。〉

- 1
- (1) この文で比べられているのは何と何ですか。文中から書き抜いて答えなさい。

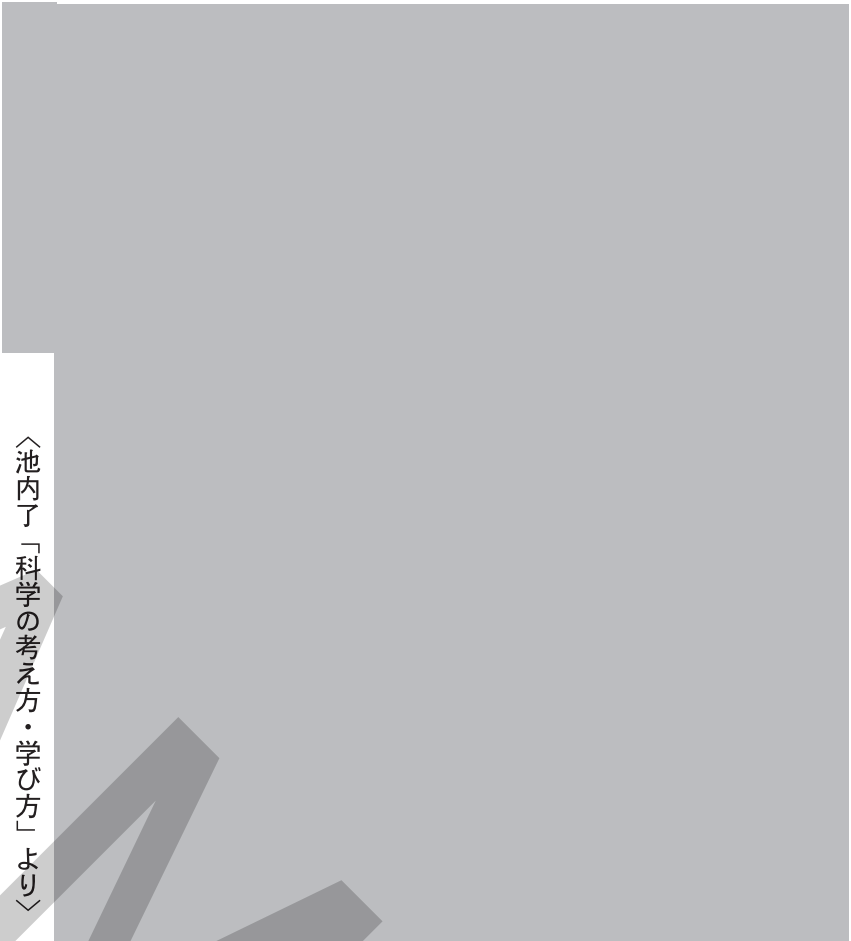
〈 と が比べられている。 〉

と

- 2
- (2) 二つのうち、どちらを重視した表現になっていますか。文中から書き抜いて答えなさい。

--

⑥ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



〈池内了「科学の考え方・学び方」より〉

(注) 錠前＝戸じまりの金具。

③ (1) 前半の段落の中からキーワードを、七字で書き抜いて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--

② (2) 前半の段落で話題になっているのはどのようなことですか。それをまと

めた次の文の に入る適切なことばを、①は二字、②は五字で、本文

中からそれぞれ書き抜いて答えなさい。

〈過去の①の業績は、②によって常に乗り越えられていくものだ
と信じていた。〉

④ (3) (1)で抜き出したキーワードを言い換えていることばを、後半の段落の中
から七字で書き抜いて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--

⑤ (4) 後半の段落で筆者が話題にしているのは、どのようなことですか。(3)の
答えを利用して、「理由」という形で、二十字以内(句読点も字数に数
えます)でまとめなさい。

理	由	。					

⑥ (5) 筆者はキーワードとして書き抜いたことばらについて、どのようなもの
と位置づけていますか。本文中から十八字で書き抜いて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--

⑥ (6) 本文全体のタイトルを「科学者の仕事のおもしろさ」とつけたとき、副
題として本文の一節を書き抜いてつけるとすれば、どの部分を書き抜きま
すか。十九字で適切な部分を書き抜いて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--

5 文学的文章⑤

練成問題

- 1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈曾野綾子「極北の光」より〉

(注) 乾鱈かんそう＝塩つけにした乾燥したタラ。

土塁どらい＝土で築いたとりで。

- 2
- (1) □① □⑤ に入る最も適切なことばを、それぞれ次から選び、記号
で答えなさい。(同じものは二度選べません)
- ア 少しも動じていなかった

3

イ ほっとしたように言った
 ウ 負け惜^おしみのように言った
 エ 決して安易に同調はしなかった
 オ うっとりしながら、備^び蓄^ちした食料を思い浮^うかべていた

①
②
③
④
⑤

□ (2) — 線①「家でぬくぬくしていた」が表している光子の様子として最も

適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 寒い家の中で、吹雪におびえている様子。

イ 寒い家の中で、元気を失わないでいる様子。

ウ 暖かい家の中で、快適に過ごしている様子。

エ 暖かい家の中で、活発に遊び回っている様子。

4

□ (3) — 線②「毎日降るといいなあ」とありますが、光子が、毎日雪が降る

ことを願うのはなぜですか。その理由を、「雪」ということばを必ず用いて、

「〜から。」という形で、十五字以内（句読点も字数に数えます）で書いて

答えなさい。

5

□ (4) — 線③「この程度の不安」とありますが、光子が言っている「不安」の具体的な内容を、「〜という不安。」という形で、三十字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。

4

□ (5) — 線④「軽い冒険の蜜の味」という表現からは、光子のどんな気持ち

が読み取れますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 待ちに待っていた楽しいことを体験することによって、うきうきする気持ち。

イ 簡単にはぬけ出せない困難を体験することによって、いらいらする気持ち。

ウ ふだんは味わえない少し危険な体験をすることによって、わくわくする気持ち。

エ 味わったことのないおそろしい体験をすることによって、びくびくする気持ち。

3

□ (6) 人が深い雪の中を進む様子をたとえを用いて表している部分を、本文中から二十一字で書き抜いて答えなさい。

5

□ (7) 本文中からは、雪で家に閉じこめられた光子が、どんな気持ちになっていることがわかりますか。その説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 雪に閉ざされた家の中で、母親とたった二人だけ取り残されたことをさびしく感じている。

イ 雪に閉ざされた家の中で、いずれは食料がなくなってしまうことに深刻な不安を感じている。

ウ 雪に閉ざされた家の中で、人々が死に絶えたかのような外の世界の静けさをおそろしく感じている。

エ 雪に閉ざされた家の中で、おいしい食べ物があり、母親と二人だけで過ごせることに幸せを感じている。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



〈安岡章太郎「宿題」より〉

(注) 銭湯＝公衆浴場。ふろ屋。

豆シホリ＝豆つぶのような模様をしほり染めにしたもの。

府立の学校＝東京府立中学（当時は東京都ではなく、東京府だった）のこと。この当時、中学は義務教育ではなく、受験しなければならなかった。

3

□(1) — 線①「ぼくは銭湯で同級生の大熊君に会った」とありますが、このあと「その子は」と大熊君についての説明が始まります。その説明が終わって、— 線②と時間的につながる部分はどこから始まりますか。本文中からその最初の五字を書きぬいて答えなさい。

3

□ (2) — 線②「宿題の持っている義務感が、初めてよくに伝わってきた」と

は、どういう意味ですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

イ 宿題はやらねばならないものなのだとということを、このとき初めて思いついた。

エ 宿題が家にはまだ山ほど残っているということに、このとき初めて気がついた。

ウ 宿題をするにはもう時間がほとんどないということに、このとき初めて気がついた。

エ 宿題の帳面を自分が持っていて、それをみんなの分までやらねばならないことを、このとき初めて知った。

2

□ (3) — 線③「頭にきて」のこの場合の意味として最も適切なものを次から

選び、記号で答えなさい。

ア カツとなって。

イ おかしくなって。

ウ 気になって。

エ ハツとして。

3

□ (4) — 線④「目は、しかし活字の上をすべるだけだった」とはどういうこ

とですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア いくら読み返しても理解できなかった。

イ 何の苦もなくすらすらと読めた。

ウ 読んでも内容が頭に入らなかった。

エ 読めない字ばかりで、とほくに暮れた。

4

□ (5) — 線⑤「ぼくはいまさら勉強するわけにもいかなかった」とあります

が、その理由として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 夏休みの宿題帳に書かれている内容が、「ぼく」にはさっぱり理解できなかったから。

イ お母さんが、「ぼく」の勉強する姿を見れば、宿題の存在に感づき、ひどく心配するから。

ウ 「ぼく」には、お母さんのような府立の学校に対するあこがれの気持ち

がなかったから。

6

□ (6) — 線⑥「だが安心して起き出せるほど静かにならないうちに、ふしぎ

に物ほし台にはカンカン日があたっている」とは、どういうことを表していますか。書いて答えなさい。

4

□ (7) 本文中からは、「ぼく」がどんな少年であることがわかりますか。次から

最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 気が弱そうだが、しんはしっかりした少年。

イ 親に心配をかけまいとする優しい少年。

ウ 他人の言葉を信じやすい、人のよい少年。

エ 気が小さくて、意志が弱い少年。

10

説明的文章 ⑤

練成問題

- 1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい

〈山極寿一「ゴリラの思いやり」より〉

(注) 敵愾心＝敵をたおそうとする気持ち。

2 □ (1) 二か所ある ※ に共通して入る最も適切なことばを次から選び、記号で答えなさい。

- ア つまり
- イ なぜなら
- ウ だから
- エ しかし

3 □ (2) ー線 ① 「これ」が指している内容として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア ビンティが子供六頭とともに暮らしていたこと。
- イ ビンティが人間の飼育員に育てられたこと。
- ウ ビンティが囲いの中に落ちた子供を助けたこと。
- エ ビンティが観客の前で子供を襲ったこと。

5 □ (3) ー線 ② 「うれしい誤算」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。
□ ① 「誤算」は、ここでは「見こみがはずれること」という意味ですが、ビンティについて観客たちが想像していた最初の「見こみ」とは、どのようなことでしたか。「ビンティ」ということばを必ず用いて、「～こと」という形で、十五字以内（句読点も字数に数えます）で書いて答えなさい。

4 □ ② 「うれしい誤算」とは、具体的にはビンティのどのような行動を指していますか。それがくわしく説明されている一文を本文中の段落②から探し、その最初の四字を書きぬいて答えなさい。

4 □ (4) 段落⑥・⑦で挙げられているゴリラと他の動物との交流の例は、ゴリラのどのような能力を明かしていますか。それが述べられている部分を、本文中から二十六字（読点も字数に数えます）で探し、その最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

5 □ (5) ー線 ③ 「人間と野生動物とのつき合い方」がくわしく述べられている一文を本文中から探し、その最初の五字を書きぬいて答えなさい。

5 □ (6) 本文は、文章の組み立ての上から、次のように大きく三つに分けることができます。最も適切な分け方をあとから一つ選び、記号で答えなさい。
(①～⑧は段落の番号を示します)

- ゴリラのビンティとジャンボの話。
 - 美談の陰にある事実と、ゴリラに備わった類まれな能力の説明。
 - ゴリラの話から導かれる筆者の主張。
- ア (1) (2 3 4 5 6) (7 8)
 イ (1 2) (3 4 5) (6 7 8)
 ウ (1 2 3) (4 5 6 7) (8)
 エ (1) (2 3 4 5 6 7) (8)

--

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



〈池上嘉彦「ふしあな」より〉

4 (1) 六か所ある※に共通して入る最も適切なことばを、ひらがな二字で書いて答えなさい。

--

3 (2) —線①「こういう不公平でおかしなところは、ことばのいろいろなところに見つかります」とありますが、「不公平でおかしなところ」とはどのようなことですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア ひとつのことばが複数のことばと対になっていること。
- イ ひとつのことばがたくさんの意味をもっていること。
- ウ 同じ意味を表すことばがひとつの場合と複数の場合があること。
- エ 同じ意味を表すことばがたくさんあること。

--

6 (3) —線②「高い」の反対を、ふたつ以上思いつきますか、③「また『やさしい』はどうでしょう」とありますが、それぞれの反対の意味のことばを二つずつ、漢字を用いて書いて答えなさい。

3	2	
---	---	--

4 (4) 本文の後半(【】の部分)の段落①・②の内容を参考にして、次のそれぞれの文の—線部「お天気」のうち、「よいお天気」を表すものにはア、「いろいろなお天気」を表すものにはイの記号で答えなさい。

- ① 明日がお天気でありますようにと、てるてるぼうずを作った。
- ② 夏休みの間、毎日のお天気を記録しておきなさい。
- ③ 明日のお天気を気かけながら、ベッドに入った。
- ④ 今日はお天気だから、ひばりがピーチク楽しげに歌っている。
- ⑤ この一か月、お天気の日を数えるほどしかなかった。

5 (5) —線④「もともと、中立的であった」とありますが、これを言いかえた表現を、ここよりあとの本文中から十七字(読点も字数に数えます)で探し、その最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3 (6) ①—④に入る最も適切なことばを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

- ア だから
- イ つまり
- ウ しかし
- エ もし

①	②	③	④
---	---	---	---

3 (7) —線⑤「それ」は何を指していますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア よいほうのお天気
- イ 私たちの願い
- ウ よくも悪くもないこと
- エ 不安定なことば

--

5 (8) 本文の後半(【】の部分)を大きく三つに分けるとすると、どのように分けられますか。①第二の部分と、②第三(最後)の部分の最初の段落の番号で答えなさい。

①	②
---	---